

令和3年6月

各 位

神 戸 税 関

東京オリンピック・パラリンピックの開催に係る  
テロ対策の水際強化についての協力依頼（お願い）

平素より税関行政に対し、ご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。


税関では、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、テロ防止に全力で取り組んでおり、爆発物・銃器等テロ関連物資の密輸入阻止を重要課題の一つと位置付け、輸入貨物の検査、船舶・航空機の取締り、旅客・乗組員の手荷物検査を強化することとしております。

効果的な水際取締りを実施するためには、皆様のご理解とご協力を賜ることが不可欠であります。

このような状況をご高察のうえ、本対策の趣旨にご理解をいただくとともに、税関行政に関わりの深い皆様におかれましては、不審と思われる状況があった場合には、些細な事柄でも結構ですので、速やかに税関までご連絡くださいますようお願い申し上げます。



テロに関する情報や不審貨物等に関する情報がございましたら、どんな些細なものでも結構ですので、最寄りの税関又は以下の連絡先へお知らせください。

・密輸ダイヤル（24時間受付）  フリーダイヤル シロイクロイ  
0120-461-961

・税関 HP 「密輸情報提供のお願い」

(<http://www.customs.go.jp/mizugiwa/mitsuyu/mitsuyu-dial.htm>)



※緊急の場合は、密輸ダイヤル（24時間受付）をご利用下さい。

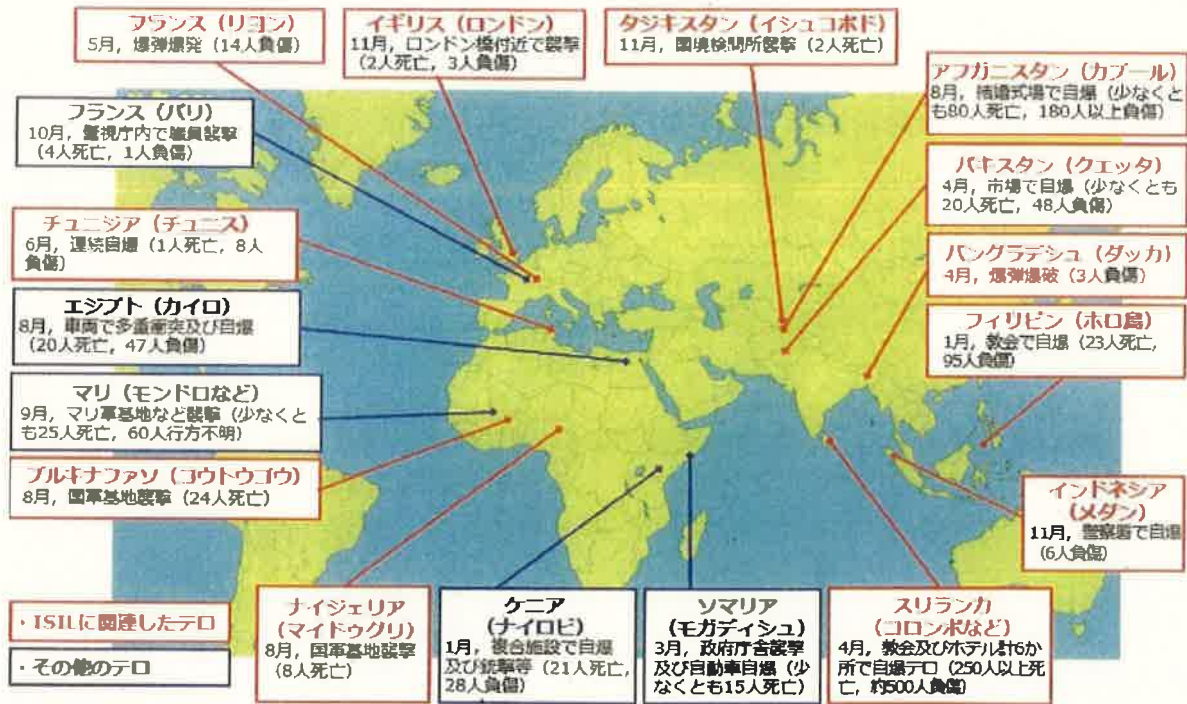
皆様からの情報が、「安全・安心な社会」実現への第一歩となります！

## 2019 年（令和元年）におけるテロの発生状況

アメリカ政府の報告\*によると、全世界ではテロ発生件数が8,302件、死者数は25,082名、負傷者数は19,924名となっています。計算すると、全世界で1日平均22件以上のテロ事件が発生し、68名以上がテロで命を落としていることとなります。

\*…US Department on State, Country Reports on Terrorism 2019

2019 年の主なテロ発生状況



出典：国際テロリズム要覧 2020（公安調査庁発行）

以下の表は大規模スポーツイベントを狙ったテロの一部ですが、平和の祭典のイメージがあるオリンピックやスポーツイベントにおいても、実際にテロが発生しています。テロは、テロの首謀者いわゆるテロリストが、政治上の主義・主張を社会に向けて発信することが目的であることから、テロリストにとっては、注目度が高ければ高いほど、観客など集まる人が多ければ多いほど、都合がよいものです。

イベント	事件
ブラジル・リオオリンピック・パラリンピック (2016)	爆弾テロを計画していたとされるブラジル人等が拘束
フランス・第 21 回国連気候変動枠組み条約締約国会議 [COP21] (2015)	パリ内外 6 か所、同時多発テロ事件、うち 1 か所はサッカーの国際試合 (フランス・ドイツ戦) 計 130 人以上死亡、300 人以上負傷
ロシア・ソチオリンピック (2014)	ソチ郊外で 3 件の連続自爆テロ事件
米国・ボストンマラソン大会 (2013)	ボストンマラソン連続爆弾テロ事件、3 人死亡、200 人以上負傷
米国・アトランタオリンピック (1996)	野外コンサート会場で爆弾テロ、2 人死亡、111 人負傷
ドイツ・ミュンヘンオリンピック (1972)	イスラエル選手団襲撃、17 人死亡

今回の東京オリンピック・パラリンピックについても、テロの発生が懸念されている状態であり、テロ発生を未然に防ぐには、関係業界皆様のご理解とご協力が必要です。

